

追悼

日本通訳学会名誉会員である西山千氏が、2007年7月2日、95歳で亡くなりました。

西山千氏は、1911年米国ユタ州ソルトレークシティで日本人の両親のもとに生まれ、ユタ大学大学院で電気工学の修士号を取得後、不況と日米関係悪化から1935年、日本に帰国なさいました。通信省電気試験所に就職し、その縁で終戦後は進駐軍（GHQ）民間通信局に勤務。引き続き米国大使館広報文化局顧問として、ライシャワー氏をはじめとする歴代駐日大使の通訳を務められました。1969年にはアポロ月着陸の衛星中継をNHKで同時通訳したことから、全国的に「アポロの同時通訳者」として知られるようになり、通訳者の社会的認知に大きく寄与なさいました。ソニー理事を経てソニー顧問となられ、さらには日本翻訳家協会（JST）理事長、国際翻訳家連盟（FIT）理事としても活躍なさいました。主著に『通訳術』（実日新書）、『通訳術と私』（プレジデント社）、『誤解と理解』（サイマル出版）などがあります。

日本の同時通訳パイオニアであり、本学会設立総会では記念講演をして下さった西山千さんが亡くなられたことは、私どもの深い悲しみとするところです。心からご冥福をお祈り申し上げます。

日本通訳学会会長
鳥飼 玖美子

なお、日本翻訳家協会（JST）では、西山さんの誕生日にあたる9月12日に「西山千さんを偲ぶ会」を予定しています。

「西山千さんを偲ぶ会」

日時：9月12日午後6時～8時

場所：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28）301号室